



12月の園だより

令和6年12月 富田林市立青葉丘幼稚園

寒さが日増しに厳しくなり、いよいよ12月を迎えました。今年も残りわずかとなり、12月ならではの行事に子どもたちはワクワクと胸躍らせています。なんとと言っても『クリスマス!!』が一番のお楽しみのように、各保育室からはサンタさんが幼稚園に来てくれたらいいなあ・・・!!と、歌や楽器の音が聞こえ、赤や緑のクリスマスカラーで彩られています。

赤は愛や情熱を表す色としても知られ、クリスマスシーズンには温かさや喜びを感じさせる色です。サンタクロースの衣装が赤いのもこの意味合いを反映しているそうです。また、緑は木や葉に見られる色で永遠の命や生命力を象徴しています。冬の寒さの中でも緑色を保つ常緑樹はクリスマスにピッタリの色です。そんな赤と緑の組み合わせは、暖かくしあわせな雰囲気を醸し出してくれますね。

サンタクロースからのプレゼントを楽しみにしている子どもたちですが、『物』としてのプレゼントだけでなく、催し物(歌や楽器遊び)やいろいろな制作あそびなど、サンタクロースに会えることを楽しみにして取り組んでいます。「イメージをひろげる」「イメージを友達と共有する」、「友達と一緒に」「自分の思いを話す」「相手の話に耳を傾ける」など、あそびの中でサンタさんがそっと素敵な魔法のように子ども達の育ちにパワーを与えてくれるようです。

ところで、「サンタさんが見てるよ!!」をどんな風に子どもたちに声をかけているでしょうか。何かを頑張らせよう、悪いことを正そうなど、『「いい子」にしないとプレゼントがもらえない』という言葉ではなく、子どもたちの豊かな心を大切に、子どもたちをあたたく見守り、力を与えたり、励ましたり、認めてくれたりするそんな素敵なサンタさんに、教師も保護者の皆様もなりたいですね。そんなサンタさんからもらえるプレゼントは、「認められた」「頑張った」という自信につながっていくことでしょう。

急に寒くなってきました。体調に気をつけて、12月も元気に登園してください。

園長 平尾 由美子



育てたいこと

- 3歳児**
 - ・季節の変化を感じ、冬の生活の仕方やすごし方を知る
 - ・友達と一緒に遊ぶ中で、感じたことを自分なりに言葉で表現する
- 4歳児**
 - ・戸外で体をのびのびと動かしたり、楽器で遊んだりする中で、友達と一緒に感じたことや考えたことを表現しながら遊ぶ楽しさを味わう
 - ・身近な自然の変化に関心をもち、冬の訪れを感じる
- 5歳児**
 - ・友達と相談したり、協力したりして遊びを発展させる楽しさを味わう
 - ・冬の訪れを感じながら、身近な自然に興味関心をもち、積極的に遊ぶ

